



田中工業株式会社			
業種	建設業	事業所所在地	北海道広尾郡大樹町
		資本金	5,000千円
		従業員数	5名
 		被承継者（左）	
		田中 良隆	67歳 ※承継時
		承継者（右）	
		田中 隆一	36歳 ※承継時
事業承継を行った時期		被承継者と承継者の関係	
2015年 8月		子ども	
承継前の主たる事業の内容		承継前の主たる事業の課題	
主に、公共工事を中心とした管工事業者として営業。		・新市場への参入 商圏としている大樹町内において少子高齢化の影響から人口減少傾向にあり、既存事業の先行きが不透明であったこと。	

新たな取組の標題
既存事業のノウハウを活用した搾乳機械の配管洗浄事業開始による地域基幹産業の成長支援


新たな取組の内容	新役務の開発又は提供
<ul style="list-style-type: none"> ● 真空の力を利用して牛の乳を搾るための装置「パイプラインミルク」では、搾乳時に真空状態にするための真空配管に生乳が入り込むことで生乳成分が蓄積されることでミルクが故障してしまうことがあった。 ● そこで、配管洗浄を行うための高圧洗浄機を導入し、地域内での搾乳機械の配管洗浄作業に対応可能となった。 ● 事業の取組状況としては、既存取引酪農家に対してサービスの提供を開始。その中で、今までも配管洗浄の重要性は十分理解していたものの、配管内部に生乳が付着し故障することで、当然のことながら搾乳作業が停止することも大問題であるが、それ以上に牛の乳房炎発症の原因にもなることから、本作業の重要性を改めて実感することとなった。 	
 	

事業承継を実行するまで		
きっかけは？	承継計画の立案	承継までの不安と準備
承継実行の 5年前	被承継者と承継者で話し合ったこと	被承継者の承継に対する不安
地域金融機関の主催する経営塾に参加する等、経営についての勉強をし計画的に準備を進めてきた。	実務や対外的な業務の引き継ぎについて話し合いを実施。	事業承継支援として、外部の専門家による個別相談等を受けた。
	関係者との調整	承継者の承継に対する不安
	大樹町役場及び取引先金融機関、取引先に対して同行訪問により徐々に事業承継に向けた活動を進めてきた。	顧客の情報と経営面での不安。

これに一番苦労した！

苦労した一番の面は、顧客の属性等の情報であった。長年培ってきた顧客の情報を引き継ぐことは、簡単ではなく実際に現場で会話をしながら、徐々に情報を得ていく以外に簡単に引き継ぐことは非常に難しく、承継した後も常に苦労は続いている。

事業承継について相談したこと	
相談機関の業種	承継に関して受けたサポート内容
金融機関（信用金庫）	株を含めた資産等や税金面等の問題を解決するのではなく、承継者と被承継者がお互いに現状考えていること、今後のビジョンを時間をかけてじっくりと話し合いをすることから円滑な事業承継が進められるとのアドバイスを受けた。
いつから相談？	
承継実行の 5年前	
相談のきっかけ	
以前から取引やつきあいあり	

地域経済やバリューチェーンへの貢献	補助対象経費の内訳
同社の拠点とする北海道は酪農業の盛んな地域であり、地域の基幹産業である酪農業に今後貢献していく活動を積極的に展開していく。そうすることで、安心・安全な北海道十勝の牛乳を流通させる一役を担っていく。	 <p>■ 設備費</p> <p>経費の主な使い道 設備費（機械装置費、高圧洗浄機導入費）</p>
認定経営革新等支援機関から受けたサポート内容	
<input checked="" type="checkbox"/> 制度内容の理解	<input checked="" type="checkbox"/> 事業計画の立案
<input checked="" type="checkbox"/> 各種提出書類の作成	<input type="checkbox"/> 補助事業の実施
各種提出書類の協力や事業の進捗の確認等のサポートを受けている。	

今後に向けて～次の目標	
2018年から2021年に向けて	1年目：大樹町内の酪農家に対して営業活動及び口コミによる拡散を図る。（10軒程度） 2年目：大樹町での認知度向上に努める。（年間30軒程度） 3年目：大樹町外への酪農家に対して営業範囲を拡げ、酪農家向けパンフレット作成。（年間50軒程度）
売上高	8 %UP

これから事業承継に取り組む事業者の方へ	
被承継者からの一言コメント	承継者からの一言コメント
事業を引き継ぐのには勇気がいることだと思います。今まで、一生懸命続けてきたことを譲ることはそう簡単なことではありませんでした。しかし、支えてくれたお客様のためにも、事業を円滑に引き継ぐことが重要だったので事業承継してから気付くことができました。事業を承継することができて良かったと思います。信頼してくれている事業者に持続的サービスを提供するためにも、元気なうちに事業承継することが重要だと思います。	事業を引き継ぐことは、今まで作り上げてきたお客様との信頼関係を引き継ぐことでもあり、責任は重く引き継いでから大変なことは多々あります。しかし、その反面やりがいも十分にあり、今まで築き上げてきたお客様との関係に感謝しながら、更に信頼構築をしていきたいと思っています。事業を承継することは不安も大きいですが、事業の土台があるうえで事業者となる機会があることは幸せなことだと思います。